



本村幼稚園 6月の園だより

令和2年6月1日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

「正しく恐れる」子供たちのための幼稚園をめざして

園長 山村 登洋

長いトンネルのような休園措置も終わり、ついに皆様と新学期を迎えられることを本当に嬉しく思います。

改めて、保護者の皆様、お子様のご入園、ご進級おめでとうございます。本日より新入園児「りす組」は15名、年長になった「はと組」は28名、合計43名の子供たちの楽しい本村幼稚園での生活が2ヶ月遅くなりましたがいよいよ始まります。新しいお友達も順次入園予定です。



今後の教育活動をお知らせします。6月末までは、分散登園での短縮保育、7月からは一斉登園での午前保育と段階的に進めてまいります。お弁当は2学期からとなります。

子供たちの成長に欠かすことのできない園行事についてです。緊急事態宣言は解除にはなりましたが、引き続き新型コロナウイルス感染の脅威には細心の注意を払わなければなりません。港区からもコロナが終息しない限りは感染が心配される園行事は中止または延期するよう指導を受けております。そのため、1学期中の園外行事、密集の恐れのある園内行事は中止をさせていただきます。

具体的には「遠足」、「親子遠足」、「本村夏祭り」、「プール指導」は中止とします。「お誕生日会」や「〇〇〇〇の会」等は密集を避けた、りす組だけ、はと組だけと分散しての実施を検討しております。



園内での保育は、3密（密集・密閉・密接）に最大限配慮してまいります。中でも「密閉」空間にしないことが一番重要と考えます。換気については特段の配慮をしていきます。感染防止には、「手洗い」が一番と医学的にも報道されています。園でも、子供たちの手洗いを徹底させていきます。「手洗い」については、ご家庭でも同様なご指導をお願いします。日本の感染防止が世界的に賞賛を受けた背景には、マスクの着用と手洗いの徹底にあったとされています。

「正しく恐れる」という言葉があります。あまりにも気にしすぎると幼稚園での教育活動そのものが機能しません。感染防止には最大限配慮しながら、やはり子供たちには幼稚園での楽しい生活を満喫してもらいたいと思います。今は、子供たちの笑顔が一番大切です。そのために、教職員一同全力投球で子供たちとの関わり、子供たち同士の関わりを進めて行きます。どうぞよろしくをお願いします。

